

分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1)	2)	3)	4)	5)	6)	A)	A-1)	A-2)	B)	B-1)	B-2)	C)	C-1)	C-2)	C-3)	D)	D-1)	D-2)	D-3)	E)	E-1)	E-2)	E-3)	E-4)								
基幹科目	電気回路などの専門的な知識を身につけている。日本語による論理的な表現ができる。技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。電子・情報通信分野の専門知識を理解して課題解決に適用できる。チームワークで課題解決の計画を立案して実行することができる。さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で考えることができる。与えられた条件下で課題を解決することができる。自主的な学習の継続をすることができる。	電子情報システム基礎演習	● 1		◎	○					◎										○															
		電子情報システム実験Ⅰ	● 2	◎		◎	◎											◎				○	○			◎										
		電子情報システム実験Ⅱ	● 2	◎		◎	◎															○	○	◎		◎										
		電子情報システム実験Ⅲ	● 2	◎		◎	◎															○	◎	○				◎								
		エレクトロニクスプラクティス	● 2	◎		◎	◎														◎	○				○		◎								
		電気回路Ⅰ	● 2		○	◎						○											◎													
		電気回路Ⅱ	● 2			◎																	◎	○												
		電気磁気学Ⅰ	2			○	◎					○											◎													
		電気磁気学Ⅱ	2			○	◎					○											◎													
		基礎電子回路Ⅰ	2			○	◎					○											◎													
		基礎電子回路Ⅱ	2				◎																◎	○												
		コンピュータ基礎	2				◎																	◎												
		コンピュータアーキテクチャ	2				◎																	◎												
		情報通信システム基礎	2			○	◎					○												◎												
		電気回路Ⅰ演習	1	◎		◎		◎															○		○							◎				
		電気回路Ⅱ演習	1	◎		◎		◎															○		○								◎			
		電気磁気学演習	1	◎		◎		◎															○		○									◎		
コンピュータ演習	1			○	◎						○											◎														
プログラミング・同演習	3	◎		◎		◎																○					◎		○							
技術人材育成・資格関連科目	技術者として必要な社会倫理を理解している。	情報社会と倫理	2		○				◎						○	◎																				
		情報と職業	2		○				◎						○	◎																				
		電波・通信法規	2			○			◎							◎																				
エレクトロニクス系科目	電子・光工学の基礎となる材料物性と電子・光デバイスに関する知識を身につけ、それらを組み合わせた電子回路の知識と設計手法を学ぶことで、実用のシステムへ応用するための知識と能力を身につける。	電気計測	2			◎																○	◎													
		電気磁気学Ⅲ	2			◎																	○	◎												
		レーザー工学	2			◎																	○	◎												
		光エレクトロニクス	2			◎																	○	◎												
		電気回路Ⅲ	2			◎																	○	◎												
		アナログ電子回路	2			◎																	○	◎												
		デジタル電子回路	2			◎																	○	◎												
		電子回路設計	2			◎																	○	◎												
		固体エレクトロニクス	2			◎																	○	◎												
		半導体デバイス基礎	2			◎																	○	◎												
システム系科目	現代において、身の回りにあるさまざまな装置、機器、組織、制度、方式は多様な機能要素の有効な組み合わせで作られたシステムである。昨今の進歩で困難な課題の解決にはシステム化技術が必須であり、それはシステム思考、システム構築、システム運用からなる。システム分野ではシステムの分析、設計、評価に必要な不可欠な理論と技術を身につける。	データ解析	2			◎																	◎													
		システム工学	2			◎																		◎												
		AI・機械学習	2			◎																		◎												
		デジタル信号処理	2			◎																		◎	○											
情報通信系科目	情報通信に不可欠な数学的知識や電子機器の機能を関連付け、デジタルデータを効果的に扱うことができるハードウェアとソフトウェアが融合した情報システム、及び情報を伝達する通信システムに関する知識を学び、習得した知識を実用システムの利用と開発に応用する能力を身につける。	制御工学	2			◎																	◎													
		コンピュータシステム	2			◎																		◎	○											
		メディア情報開発	2			◎	○													○				◎												
		信号とシステム	2			◎						○												◎												
		通信方式Ⅰ	2			◎																		◎	○											
		通信方式Ⅱ	2			◎																		◎	○											
		ネットワーク工学	2			◎							○											◎												
		ワイヤレス通信工学	2			◎																	○	◎												
卒業研究	卒業研究	卒業研究	(4)	○		◎	◎	○															◎										○			

(注1) ●:必修科目、単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目)

(注2) 背景色が黄色の授業科目は主要授業科目であることを表す。

(※) 本学では、卒業研究に単位は設定しておらず、卒業要件として、その合格を課している。ただし、卒業研究がDP達成に果たす役割は大きく、DSシステム上のDP達成度算出の対象とするため、カリキュラム・マトリクス上では卒業研究を4単位と仮定している。